



1 第6代よねやま親善大使が決定！ 7/1 始動

昨年12月から約3カ月間にわたり行われた「第6代よねやま親善大使」の募集には、29人から応募がありました。広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、以下の3人が新たな大使に決定しました。任期は2025年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事やクラブ例会などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使に関するご連絡は、当財団事務局広報担当まで。



プーガ フロレス パブロ マヌエル
(メキシコ/2006-08/東京三鷹RC)

三菱鉛筆株式会社勤務。第2750地区東京広尾RC会員。2023-24年度同クラブ会長を務め、多様性、公平性、インクルーシブ性(D E I)を意識したクラブ運営に取り組む。会長年度に同地区内一人当たりの米山寄付額が地区5位を達成。



ガンバト トウメンバイヤル
(モンゴル/2014-15/大府RC)

ココザス株式会社勤務。第3450地区フレアRC元会長。モンゴルの小中高一貫公立学校への図書室設置プロジェクトや、チョンジュRC(韓国)と協力し経済的に困難な家庭の幼稚園児への学費支援を行うなど、さまざまな活動に尽力。



カレ タオ

(ベトナム/2023-25/旭川RC)

生活協同組合コープさっぽろ勤務。2024-25年度在日ベトナム学生青年協会・北海道支部の会長を務め、日本とベトナムの交流支援活動に尽力。その他、日本とベトナム両国の交流促進のためのイベントを多数企画・運営している。

2 米山奨学生が感謝を表現 第2660地区学友会

3月2日、大阪市内のホテルにて、国際ロータリー第2660地区米山学友会が「米山感謝祭」を開催しました。「米山感謝祭」とは、米山奨学生がお世話になったカウンセラーや世話クラブ、ロータリー会員への感謝の気持ちを伝えるため、奨学生自ら企画し、運営するイベントです。

当日は米山奨学生・学友47人、同地区の大橋秀典ガバナー、吉川健之ガバナーエレクトをはじめ、多数のロータリー会員が駆け付け、参加者は106人となりました。

プログラムでは、「感謝の時間」と題し、奨学生たちがサプライズプレゼントや手紙をカウンセラーに贈り、直接思いを伝えました。また、米山バンドによる演奏と合唱が行われ、大盛況



バンド演奏を行う奨学生たち

のイベントとなりました。

同学友会会長の呉偉偉さん(2010-11/青森東RC)は、「奨学生たちは約3カ月前から何度も打ち合わせを重ねてきました。参加者からは『カウンセラーになって本当によかった』『自分もカウンセラーをやってみたい』といった声も聞こえました。大きなやりがいと、米山奨学事業の素晴らしさを体感できた一日でした」と述べました。

3 寄付金速報 — 単月では例年並みの推移 —

前年同期比

-8.8%

普 -1.0% 特 -12.4%

3月末までの寄付金は前年同期と比べて8.8%減(普通寄付金:1.0%減、特別寄付金:12.4%減)、約1億740万円の減少とな

りました。3月分の単月寄付額としては、昨年度より約580万円増加しました。今年度も残り2カ月半ほどとなりました。4月は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 2025 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2025 学年度の奨学生は 965 人となりました。新規採用者 701 人、継続者 264 人です (4 月 14 日現在)。国・地域別では、中国 40.1%、韓国 13.1%、ベトナム 13.0%、ネパール 3.8%、インドネシア 3.7%、マレーシア、モンゴル、台湾が同率で 3.5%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が 919 人 (学部 429 人、修士 315 人、博士 175 人)、地区奨励奨学生が 25 人、クラブ支援奨学生が 2 人、海外応募者

対象奨学生が 19 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

5 「人生の宝物」世話クラブへのメッセージ

3 月をもって多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出しました。今回は、中国出身の姜雅婷さん(2023-25/交野RC)に、2 年間の奨学期間を過ごした世話クラブである交野RCへの感謝の思いを伺いました。

〈 姜雅婷さんより 〉

初めての例会は緊張で少し距離を感じていましたが、皆さまの温かさでいつの間にかとても身近に、そして家族のように感じられるようになりました。共にした思い出はどれも心に深く残っています。

この2年間、たくさんの方に支えていただきました。特にカウンセラーの嶋田健一さんとは、祇園祭に一緒に行ったり、浴衣を着たりと、日本の文化を体験する機会をたくさんいただき、



異国の地での生活が心豊かで温かいものになりました。振り返ると、私は決して一人ではありませんでした。いつもそばで見守り、支えてくださる方々がいて、その温かさが大きな力を与えてくれました。おかげで自分らしく、前向きに歩んでいくことができたと思います。

温かい笑顔に囲まれて過ごした一瞬一瞬が、私の人生の宝物となりました。交野RCの一員として受け入れていただいたことを心から幸運に思い、そして感謝しております。皆さまと過ごした時間は、これからの私の人生において、ずっと輝き続けるでしょう。卒業後も、皆さまの活動にお力添えができればと思います。そのときにまた笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

再见、またお会いしましょう。必ず！



姜さん(右から2人目)とカウンセラーの嶋田氏(左)